学校だより　令和元年十二月号
おのみ
志布志市立尾野見小学校

人権週間に思う

校長　川﨑　咲子

人権週間に、人権同和教育の係の企画・運営で、標語を考えたり、ＤＶＤを視聴したり、メッセージを書いたり、様々な取組をしました。

全校朝会では、「自分のいいところ探し」をしました。すぐに発表できる子どももいれば、自分のいいところがなかなか見つからない子どももいました。しかし、友達はよく見ています。「〇〇さんは、人に優しくて、できないことをがんばる人です。」と、すぐに教えてくれました。さっきまで不安そうにしていた子どもの表情が、ぱっとうれしそうな表情に変わりました。

子どもたちみんなが自分のいいところに気づき、自分に自信をもち、自分を大切にできるといいですね。そして、自分を大切にするのと同じように、友達も大切にできるといいですね。

また、もしいじめられたときは、我慢せずに、「いやだ。やめて。」とはっきりと抵抗したり、言えないときは、友達や先生・家族に相談したりすることが大切であることを伝えました。加えて、そのような場面を見たら、「だめだよ。やめて。」と止めたり、誰かを呼んでやめさせることが大切であることも伝えました。たくさんの学びを行動に移せますように願います。

最後に、保護者や地域の方々の御支援をいただきながら、おのみっ子の大切な一つ一つの命が、様々な場面で輝いた二学期でした。まもなく二学期が終わります。暖かい部屋で、保護者の方からお子さんへ、お子さんのいいところをぜひ伝えてください。大切に思っているということをぜひ言葉にして伝えてください。

【校訓】
明るく・強く正しく・すこやかに
十二月の生活目標
・友達と仲良く生活しよう。
十二月の保健目標
・心の健康を考えよう。

劇団うりんこ公演

十一月二十一日に、文化庁巡回公演の劇団うりんこによる「学校ウサギをつかまえろ」を催しました。子どもたちに豊かな心と表現の楽しさを味わわせたいことを目的に実施しました。劇中では劇団の方が、個性あふれる役柄をそれぞれに演じていらっしゃいました。また、児童や職員の一部は、劇中でクラスメートや先生役で舞台に参加しました。地域の方々にも鑑賞していただきました。劇が進むにつれて、体育館が一つのドラマのステージとして一体となっていくのを感じながら鑑賞しました。ストーリーも友達のそれぞれの良さを認め合うことの大切さを描いたステキな作品でした。

最後に、劇団の方がサイン付の色紙をくださいました。公演を通してとても良い学習ができました。

読書集会

十一月十五日に、読書集会を行いました。まず、図書委員会の子どもたちが読書クイズや多読者賞の表彰を行いました。その後、ボランティア団体「かみ風船」の方々に「３匹のやぎ」や「ブレーメンの音楽隊」、鹿児島弁の「大きなかぶ」を演じていただきました。どの話も、読み手の間や語り口が、とても楽しいものでした。子どもたちも、夢中になって聞いていました。

ネット依存になっていませんか

十一月は霜月というように、畑に霜も降りるようになってきました。さて、寒さがしみてきた十二月四日は、家庭教育学級で、歯と口の健康に関する説明会を、市教育委員会、市保健課、学校歯科医、学校薬剤師の方々から、わかりやすく丁寧な説明をしていただけました。また、ネット依存についての映像を通して、ネット依存についても学級ＰＴＡで考えていきました。子どもたちだけでなく、私たち自身も、身の回りでちょっと時間があると周りの景色を眺めるよりスマホを触っていないでしょうか。